

湯布珪藻土 施工マニュアル

WonderWall株式会社
代表取締役 井筒洋次
携帯電話 090-8602-5774

湯布珪藻土施工に必要な材料

この2つは御社にてご準備してください

下パテ材（石膏系パテ）

- 例
- ・ニットのVスリークパテ
 - ・吉野石膏のタイガーGLパテ



ファイバーテープ

※推奨 ニットのスリムファイバー48

この2つはWonderWall株式会社に
発注をしてください

※湯布珪藻土HPより発注出来ます



湯布珪藻土
1袋 13~15㎡



上パテ
MPパテ1袋 60㎡

湯布珪藻土施工に必要な道具



30ℓ 練り樽



10ℓ バケツ



かくはん機 ※別紙詳細



1杯400ccの柄杓

※鍬や鍬板等は指定ありません

推奨のかくはん機 詳細



かくはん機は写真の形で1300回転の高速回転型を使ってください

※低速回転型は混ざりません

※かくはん機の羽の形も写真同様をお願いします



※推奨のかくはん機 マキタのUT1305

パテ一覧

ジョイント部分



①下パテ打ち（石膏系パテ）



②ファイバーテープ貼り



③上パテ打ち（MPパテ）

出隅部分



①下パテ打ち（石膏系パテ）



②ファイバーテープ貼り



③上パテ打ち（MPパテ）

入隅部分



ファイバーテープ貼り

ビス頭



下パテ（石膏系パテ）1回打ち

石膏ボード



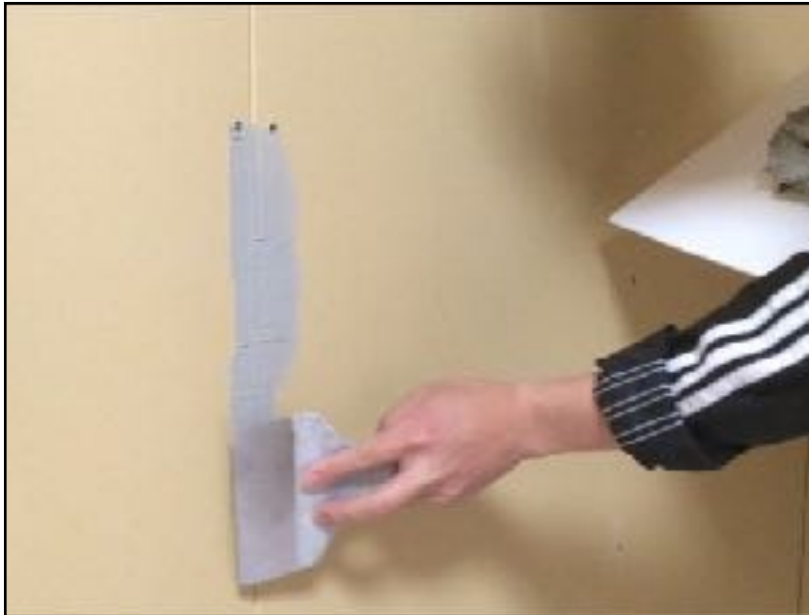
- ・石膏ボードはパテがよく入るようベベルボードにしてください
- ・窓枠やドア枠廻りはジョイントをずらす事をお勧めします
- ・15cmピッチでビス止めをしてください



- ・出隅部分も下パテがよく入るようVカットして貼ってください

石膏ボードの貼りで下地処理効率やヒビ割れ防止にも大きく影響します

①下パテ（石膏系パテ）



ジョイント部分にパテを詰め込みジョイント以外についたパテを削ります



パテ幅は最小限で大丈夫です

②出隅 下パテ（石膏系パテ）



ジョイント部分にパテを詰め込みジョイント以外についたパテを削ります

※ 不陸調整もこの時にしてください



③ビス頭部分下パテ（石膏系パテ）



下パテ（石膏系パテ）を打ちます

ここまで↑は下パテ（石膏系パテ）を使います

ここから↓は上パテ（MPパテ）を使います

④ファイバーテープ貼り



ジョイントと出隅の下パテ済みの部分に貼ります



※出隅部分はテープがボードよりはみ出さないよう注意してください



入隅にも直接貼ります
入隅の下地処理はこれで完了

専用MPパテ 練り方



① 柄杓で水を5杯（2.0ℓ）
バケツに入れます ※柄杓が1杯で400cc



② 専用パテを全部バケツに入れます



③ かくはん機を使ってしっかり混ぜます



最初は固いですが我慢して混ぜると
柔らかくなります



パテの完成

※パテは水が多いほど痩せます。

水の量は加水せず1袋に対して
2.0ℓを守ってください

⑤ 上パテ (MPパテ)



ファイバーテープの上に上パテを打ちます。パテ幅は200ミリ程度です

この時にファイバーテープが薄く見えても構いません。

逆に薄く見えるくらいシゴいてください。



両耳を削りながらパテを打ってください

⑥ 出隅 上パテ (MPパテ)



出隅もファイバーテープの上に上パテを打ちます



完成

パテ下地処理 完成



※パテが痩せている所は増し打ちをしてください

珪藻土 練り方マニュアル

湯布珪藻土1袋に対して練り水11ℓ + 柄杓2杯



① 11ℓの水を入れます



② 湯布珪藻土を9割入れます



③ かくはん機で約3分間練ります（トロトロになります）

※③と⑤の注意点

粉が無くなるまでかくはん機を上下に動かさないでください。

かくはん機に負荷がかかりすぎて混ざらなくなり、ダマができます。



④ 残りの珪藻土を全部入れます

続き→



⑤ かくはん機を傾けて練った土と粉を少しずつ混ぜます。約5分かかります



⑥ 粉が無くなったらかくはん機を上下に動かして全体を練ります



⑦ 柄杓（400cc）2杯加水します



⑧ かくはん機で約1分練ります



珪藻土練り完成

練り時間 トータル約10分